



むかい

学校教育目標

- ・かしこく・やさしく
- ・たくましく・なかよく

新しい年、子どもたちが自分らしく前に進む3学期に

校 長

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。冬休みを終え、子どもたちの元気な声が学校に戻り、3学期の学校生活が始まりました。年の始まりは、自分を見つめ直す良い機会です。私も毎年、「今年はこんな挑戦をしてみたい」と決意を新たにしますが、思い通りにいかず挫折することもあります。それでも「また今日からやってみよう」と思えると、心が軽くなるものです。

3学期は一年のまとめであり、新しい学年につながる大切な時期です。「漢字を丁寧に書きたい」「縄跳びで新しい技に挑戦したい」など、子どもたちはそれぞれの目標を胸に進み始めています。しかし、その気持ちが毎日続くとは限りません。できた日もあればできない日もある。意欲が数日でしぼんでしまうこともあります。

大人はつい「なぜ続かないの？」と思ってしまいますが、成長には思い通りにいかない経験が欠かせません。うまくいかなかった理由を考え、気持ちを切り替え、もう一度挑戦しようとする心こそ、次の学年につながる力です。必要なのは叱ることではなく、「また明日からやってみよう」と励ます関わりだと感じています。

12月の学校だよりも触れましたが、外尾悦郎氏の講演での「一人になることを恐れない」「自分の信じる道を進む」という言葉は、創り続ける人の強さを示すものでした。この言葉を聞きながら、私は子どもたちの姿と重ねました。学校では仲間との協力が大切ですが、「自分で考え、自分の答えを見つける力」も同じように重要です。周囲と違う考え方をもち悩むことがあります、そんな時こそ自分を信じて考え方を育ててほしいと思います。

本校が進めている「個別最適な学び」は、この考え方と深くつながります。一人ひとりの学びのペースを尊重し、自分に合った方法で挑戦し、「わかった」「できた」という実感を積み重ねることが、自己肯定感やメタ認知の力を育てます。立ち止まりながらも、自分のペースで確かな一步を進められる学びを、これからも大切にしていきます。

令和8年が、子どもたち一人ひとりにとって、自分らしい目標に向かって前向きに歩き出せる一年となるよう願っています。今年も保護者・地域の皆様とともに、温かい学校づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。